

## 2016年3月期 通期連結決算報告 (2015年4月1日～2016年3月31日)

- 2016年3月期の営業利益は、ディスプレイ事業の業績悪化を、建築用ガラス事業での業績向上が上回り、引き続き改善
- ディスプレイ事業における競争の激化や新興国における需要の低迷により、個別開示項目にて多額の損失を計上
- 2017年3月期は、赤字事業からの撤退による効果、基幹事業における収益性の改善、無形資産償却費の減少等により、営業利益ベースで前期対比約120億円の増益を予想
- 中期経営計画（MTP）進捗に関する評価・目標達成のための方策検討を行い、2017年3月期第2四半期決算発表時に、結果を報告予定

2016年3月期の営業利益は、ディスプレイ事業の業績悪化を、建築用ガラス事業での業績向上が上回り、引き続き改善

- グループ売上は、6,292億円と前年と同様の水準（前年同期6,267億円）
- 無形資産償却前営業利益は272億円（前年同期252億円）
- 建築用ガラス事業は、売上2,626億円（前年同期2,529億円）、無形資産償却前営業利益246億円（前年同期170億円）
- 自動車用ガラス事業は、売上3,163億円（前年同期3,140億円）、無形資産償却前営業利益98億円（前年同期94億円）
- 高機能ガラス事業は、売上495億円（前年同期587億円）、無形資産償却前営業利益3億円（前年同期49億円）

ディスプレイ事業における競争の激化や新興国における需要の低迷により、個別開示項目にて多額の損失を計上

- 個別開示項目は351億円の損失（前年同期55億円の利益）

2017年3月期は、赤字事業からの撤退による効果、基幹事業における収益性の改善、無形資産償却費の減少等により、営業利益ベースで前期対比約120億円の増益を予想

- 中国の結晶系太陽光発電用型板ガラス事業の撤退及び閉鎖、ベトナムの薄板ガラス用のフロート窯の一時休止により、業績回復の遅れの原因に速やかに対処
- 欧州における市場の回復と欧州と北米における生産効率の改善により、基幹事業の収益性を改善
- 建築用各種機能商品などの高付加価値製品の比重が着実に増加
- ピルキンソン買収時に生じた無形資産に係る償却費の減少

中期経営計画（MTP）進捗に関する評価・目標達成のための方策検討を行い、2017年3月期第2四半期決算発表時に、結果を報告予定

## 連結損益計算書



	2016年3月期	2015年3月期	前年比
(億円)			
売上高	6,292	6,267	0%**
無形資産償却前営業利益	272	252	8%
償却費*	(78)	(84)	
営業利益	194	168	
個別開示項目	(351)	55	
金融費用(純額)	(182)	(179)	
持分法による投資損益	(35)	4	
税引前利益/(損失)	(374)	48	
当期利益/(損失)	(475)	29	
親会社の所有者に帰属する当期利益/(損失)	(498)	17	
EBITDA	603	579	4%

\* ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

\*\* 為替変動を除くと1.7%

### 無形資産償却前営業利益は着実に改善

2016年5月13日 | 2016年3月期通期決算報告

## 2017年3月期連結業績予想



	2017年3月期 見通し	2016年3月期 実績
(億円)		
売上高	6,200	6,292
無形資産償却前営業利益	340	272
償却費*	(30)	(78)
営業利益	310	194
個別開示項目	10	(351)
金融費用(純額)	(180)	(182)
持分法による投資利益/(損失)	10	(35)
税引前利益/(損失)	150	(374)
当期利益/(損失)	70	(475)
親会社の所有者に帰属する当期利益/(損失)	50	(498)

\* ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

### 2017年3月期は当期損益の黒字化を見込む

2016年5月13日 | 2016年3月期通期決算報告